

平成24年度病虫害発生予察予報第11号(2月)

平成25年2月4日
高知県病虫害防除所

《予報の概要》

作物名	病虫害名	予想発生量
抑制・促成キュウリ	べと病	並～やや多
	褐斑病	並
	うどんこ病	<u>やや多</u>
	つる枯病	並
	黄化えそ病	並
	ミナミキイロアザミウマ	並
	タバココナジラミ	少
促成ナス	黒枯病	<u>やや多</u>
	すすかび病	並
	うどんこ病	<u>多</u>
	ミナミキイロアザミウマ	少
	ヒラズハナアザミウマ	少
	タバココナジラミ	<u>やや多</u>
	ハモグリバエ類	少
促成ピーマン・シシトウ	黒枯病	並
	うどんこ病	並
	斑点病	並
	アブラムシ類	<u>多</u>
	ミナミキイロアザミウマ	やや少
	ヒラズハナアザミウマ	並
	タバココナジラミ	並
	ハダニ類	<u>やや多</u>
	ハモグリバエ類	並
促成トマト	灰色かび病	<u>やや多</u>
	葉かび病	少
	すすかび病	<u>やや多</u>
	黄化葉巻病	並
	タバココナジラミ	少

I 気象予報(高松地方気象台 平成25年2月1日発表)

＜予想される向こう1か月の天候＞ 2月2日から3月1日

天気は、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40％です。降水量は多い確率50％です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40％です。

週別の気温は、1週目は、高い確率60％です。2週目は平年並の確率50％です。

＜確率＞

(単位:%)

期 間	要 素	予報対象地 域	低 い (少ない)	平 年 並	高 い (多い)
1ヶ月	気 温	四国地方	20	40	40
	降 水 量		20	30	50
	日照時間		40	40	20
1週目	気 温	四国地方	10	30	60
2週目			20	50	20
3～4週目			30	40	30

＜予報の対象期間＞

1ヶ月 : 2月 4日(土)～3月 3日(土)

1週目 : 2月 4日(土)～2月10日(金)

2週目 : 2月11日(土)～2月17日(金)

3～4週目: 2月18日(土)～3月 3日(金)

II 病虫害発生予想

1. 抑制・促成キュウリの病虫害

1) ベと病

予 想 発生時期:並 / 発生量:並～やや多

根 拠

- (1) 現在、発生面積は平年並で、発病葉率は平年に比べて並～少である。
- (2) 向こう1か月の気象予報では、気温は高めで推移し、雨の日が多い見込みで、現在の発生状況からやや病徴は進展気味で推移すると思われる。

対 策

- (1) やや低温で多湿が発病の条件であることから、十分な換気と適正な温度管理に留意する。
- (2) 蔓延すると防除が困難になることから、初期防除に努める。
- (3) 窒素不足や土壌水分過多は発病を助長するので、適正な肥培管理により草勢を維持する。

2) うどんこ病

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多

根 拠

- (1) 現在、県中央部で発生が多く、発病葉率も高い。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、病勢を助長する要因は少ないと考えられるが、既発ほ場の状況

から、このままやや多発生で推移すると思われる。

対 策

- (1) 比較的高温の乾燥条件で発病するので、適正な温湿度管理に留意する。
- (2) 薬剤によっては耐性菌を生じやすいものもあるので、同一系統の薬剤を連用しない。

3) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生時期:並 / 発生量:並
根 拠

- (1) 現在、県中央部で発生面積が多く、寄生葉率も平年を上回っている。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、外からの飛び込みやハウス内での急激な増殖要因は少ないと思われるが、薬剤感受性の低下が懸念されており、現在の発生状況のまま推移すると考えられる。

対 策

- (1) ミナミキイロアザミウマは生長点部を好んで寄生するため見つけにくく、また、薬剤もかかりにくいことから、丁寧な散布を心がける。また、感受性低下を避けるため、同一薬剤や系統が同じ薬剤の連用は避ける。
- (2) 青色粘着資材等の物理的防除も併用し、ハウス内での密度低減に努める。
- (3) 本虫は黄化えそ病のウイルスを媒介する。発病株は次への発病の感染源となることから、見つけ次第早めに除去する。

2. 促成ナスの病害虫

1) 黒枯病

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多
根 拠

- (1) 現在、県中央部で発生面積が平年に比べて多発生で、発病度も高い。
- (2) 向こう1か月の気象予報では、気温はやや高めで推移し、雨の日が多い見込みで、現在の発生状況から病徴はやや進展気味で推移し、平年よりやや発生が多いと思われる。

対 策

- (1) 蔓延する前の初期から防除を徹底し、耐性菌発現を防ぐため同じ薬剤の連用は避ける。
- (2) 多湿や急激な温湿度管理、極端な肥培管理は草勢を低下させ、病勢進展を助長するので、適正な栽培管理に努める。

2) うどんこ病

予 想 発生時期:並 / 発生量:多
根 拠

- (1) 県東部で発生が多く、発病度も平年に比べて高いが、向こう1か月の気象予報では気温が高めで推移し、雨の日が多いと見込まれることから、発生を助長する要素は少なく、急激な病勢の増加はないものと思われる。

対 策

- (1) 蔓延する前の初期から防除を徹底する。また、耐性菌発現を防ぐため同じ薬剤の連用は避ける。
- (2) 急激な温湿度管理や極端な肥培管理は草勢を低下させ、病勢進展を助長させるので避ける。

3) タバココナジラミ

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多
根 拠

- (1) 現在、県東部と中央部で発生がやや多～多で、寄生株率は並である。
- (2) 向こう1か月の気象予報で、温度の低い時期でもあり急激な増加は考えられないものの、現状の発生が多いことから、この状態で推移すると思われる。

対 策

- (1) 感受性低下回避のため系統の同じ薬剤の連用は避け、発生初期から薬剤防除を行う。
- (2) 黄色粘着資材等物理的防除も併用し、ハウス内での密度低減に努める。

3. 促成ピーマン・シントウの病害虫

1) 斑点病

予 想 発生時期:並 / 発生量:並

根 拠

- (1) 現在、県中央部で平年に比べてやや多発生である。
- (2) 向こう1か月の気象予報では病勢を助長する要因が多いことや、天敵導入により薬剤防除回数も減少していることから、やや発生は増加傾向で推移すると思われる。

対 策

- (1) 多湿条件が多発の要因となることから、換気を十分に行い、適正な温湿度管理に留意する。
- (2) 蔓延すると防除が困難になるので、感染源となる罹病部位はできるだけは場外へ出し、定期的な薬剤散布を心がける。

2) 黒枯病

予 想 発生時期:並 / 発生量:並

根 拠

- (1) 現在、県中央部で平年並、その他の地域では少発生である。
- (2) 向こう1か月の気象予報から病勢を助長する要因が多く、さらに天敵防除の普及で予防散布が十分にできていないところも多いことから、発生は増加傾向で推移すると思われる。

対 策

- (1) 本病が蔓延すると防除が困難になるので予防に努め、薬剤散布の際は下葉や葉裏へかけ残しのないよう丁寧に行う。なお、天敵を利用した栽培では、薬剤散布が天敵に影響を及ぼす場合があるので注意する。
- (2) 罹病葉等の除去や送風等によるハウス内湿度の低減等環境改善にも努める。

3) アブラムシ類

予 想 発生時期:やや早 / 発生量:多

根 拠

- (1) 現在、県中央部から中西部にかけて平年に比べて発生が多い。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、現在の発生状況が大きく変動することはないと思われる。

対 策

- (1) すず病が発生すると草勢が低下するので、その前に薬剤で防除する。なお、天敵導入は場では影響の少ない薬剤で対応する。

4. 促成トマトの病害虫

1) すずかび病

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多

根 拠

- (1) 現在、発生は平年よりかなり多い発生である。
- (2) 向こう1か月の気象予報によれば病勢を助長する要因が多く、やや増加傾向で推移すると思われる。

対 策

- (1) 高温多湿が病勢を進展させることから、換気を十分に行い適正な温湿度管理に留意する。
- (2) 窒素過多による過繁茂は発病を助長するので、適正な肥培管理や摘葉等の作業を遅れないように行い、草勢を維持する。

2) 灰色かび病

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多
根 拠

- (1) 現在、平年に比べ発生面積、発病果率ともに平年より高い。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、発病を助長する要素が多いことから、現在の発生状況より病勢は増加傾向で推移すると思われる。

対 策

- (1) 発病後では防除が困難であるので、予防を主体とし、発生を見たら早めに治療効果の高い薬剤で対応する。
- (2) ハウス内を蒸し込みぎみに管理したり、過繁茂にすると本病を助長することから、温湿度管理や換気、肥培管理、摘葉等作業には十分留意し、適正な栽培管理に努める。

3) タバココナジラミ

予 想 発生時期:並 / 発生量:少
根 拠

- (1) 今回の巡回調査では発生は確認されず、現場からの発生情報もない。
- (2) 向こう1か月の気象予報によれば急激な密度上昇を助長する要因は少ないが、気温の上昇ともなってやや増加傾向で推移すると思われる。

対 策

- (1) 発生初期に防除を徹底する。薬剤散布に際しては、感受性低下回避のため同一系統薬剤の連用は避けるとともに、黄色粘着資材等物理的防除も併用し、ハウス内での密度低減に努める。

県民の皆様に提供する農作物の病虫害防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

1. **病虫害防除所ホームページ**（こうち農業ネット）：<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/byoki/boujoshou/>
 - ①病虫害発生予察月報、病虫害発生予察予報
 - ②病虫害発生予察注意報、病虫害発生予察警報、病虫害発生予察特殊報
 - ③病虫害発生予察技術資料
 - ④新しく問題となっている病虫害 etc.
2. **こうち農業ネットサービス**※※当方で提供する情報の閲覧は無料です（通信料は別途必要となります）。
 - ・携帯電話を使った病虫害関連情報（どなたでも利用可能です）
 - <http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/i/> (Iモード)
 - トップメニュー→地域情報→タウンガイド・行政→高知県庁メニュー→農業情報：(ezweb)
 - 四国メニュー→タウン情報・行政→高知県庁メニュー→農業情報：(ヤ7-)
 - ①病虫害発生予察情報（概要）